

平成 26 年度第 2 回 千葉県支部役員会 議事録

日 時：平成 26 年 5 月 17 日（土）13：00～15：00

場 所：きぼーる 千葉県ビジネス支援センター 15 階 多目的会議室

1. 幹事出席状況確認（□出席、△欠席・委任状提出、■欠席）

□松井 隆支部長、□稲葉信克、△今住則之、□河北慶介、□川畑真一、■國廣隆紀、
□久保康弘、□桑島英明、□古西義正、△匂坂和夫、□志澤達司、□進藤秀明、
□進藤義男、□滝沢利治、□長見 茂、△花岡善郎、■尾頭 誠、□保坂俊雄、
□松本喜義、□水野正勝、□山下六男、□山本陽一、□和田保久（50 音順）

以上、18 名出席、3 名委任状提出を含め 21 名の幹事が出席して支部役員会が行われた。

2. 議事概要

新年度を迎え第 2 回目の役員会です。前回に続き、平成 25 年度の活動報告と平成 26 年度の活動計画の年次大会関連事項文書について審議した。

[審議事項]

(1) 役員会議事録の作成について

本日の議事録作成書記は、川畑幹事に、議事録署名人は、松井支部長、稲葉幹事及び桑島幹事が承認された。

(2) 第 1 回役員会議事録の確認（資料 2-1）

次の修正を加えて承認された。

- 1) 2. (5) 保坂支部長→保坂副支部長
- 2) 2. 景山→影山 (2 箇所)
- 3) 2. (6) 宛先は技術士会→宛先は日本技術士会
- 4) 2. (6) 船橋市市役所→船橋市役所

(3) 平成 26 年度年次大会 報告書（案）（資料 2-2）

今回は報告書の文案について審議することとし、各委員会より報告書（案）について説明があった。主な修正は次のとおり。

- 1) II 1. ⑨ 研究会名は「技術者倫理講師育成研究会」とし申請の詳細について支部長が確認する
 - 2) II 2. 2 (2) の文章末が「望ましい」となっているので主催者として表現を再考する。
 - 3) II 2. 3 (1) 他の委員会とのバランスを考え説明文章を追加する。
 - 4) II 2. 3 (1) 1) CMS の意味、フルスペル等を記載し分かりやすくする。
 - 5) II 2. 4. 2 I と II の表が入れ替わっている所以正しい位置に戻す。
 - 6) III 2. 4. 2 (2) 最後の 2 行は前年度の文言であり削除する。
- (4) 前回決定した年次大会招待者に、「男女共同参画推進委員会」と「青年技術士交流実行委員会」を加えて、両委員会メンバーとの関連を深めることとする。

[委員会・チーム活動報告]

(1) 総務委員会

- ・ 報告書内容と重複するので特になし

(2) 企画委員会（資料 2-3）

- ・ 今後の開催予定について説明があった。

(3) 広報委員会（資料 2-4）

- ・ 千葉県支部の Web を支部担当で更新できる体制を組むことが統括本部より求められたので委員会内で善後策を検討することとした。

(4) 活動推進委員会

1) 防災支援チーム

- ・ チームリーダー交代検討中の旨、支部長より報告があった。

2) 科学技術・理科支援チーム（資料 2-5）

- ・ 長生高校より SSH 対応で技術士会に支援要請があったので、来年度からの実験・実習講座を担当できるものは山下チームリーダーまで連絡をすること。また、報酬については、7 月頃までに交渉していきたいとの説明があった。

(5) 平成 26 年度第 3 回役員会：平成 26 年 6 月 21 日（土）15：30～18：00

千葉県ビジネス支援センター きぼーる 15F 第 4 会議室

（公益財団法人 千葉県産業振興財団）

[配付資料]

（資料 2-1）第 1 回千葉支部役員会議事録（案）

（資料 2-2）平成 26 年度年次大会 報告書（案）

（資料 2-3）企画委員会 5 月役員会報告

（資料 2-4）広報委員会資料

（資料 2-5）科学技術・理科支援チーム資料（千葉県立長生高校 SSH）

議事録作成者

川畑 真一

議事録署名人（署名捺印）

松井 隆

稲葉 信克

桑島 英明